

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 海星学院高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒050-0072
北海道室蘭市高砂町 3-7-7

E-mail : kaisei@kaisei-gakuin.ed.jp

Website : http://kaisei-gakuin.ed.jp/

児童生徒数：男子 70 名 女子 125 名 合計 195 名
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（東北支援）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

「開発途上国の理解と支援及び東北支援」を中心に、持続可能な社会の担い手の育成を本校のESD目標として、次の通り活動した。

【4月】

① 世界一大きな授業実施<資料 01>

【日時】 4/24 【場所】 本校

【内容】 教育協力 NGO ネットワーク主催の同授業に全校生徒が参加。カンボジア王国の農村に学校を建設するなどの支援を行っている「はちどりプロジェクト」代表北端恵氏の講演を実施。生徒はカンボジアと日本の教育事情や南北格差について理解を深める。生徒は「リコーダーや鍵盤ハーモニカ」の支援物資協力を申し出て、活動を開始。

② 「世界の笑顔のために」プログラム参加<資料 02、03>

【日時】 4/26～5/15 【場所】 本校

【内容】 JICA（独立行政法人国際協力機構）主催の同プログラムは、開発途上国で必要とされている、スポーツ、文化、教育、福祉などの関連物品を、派遣中のボランティアを通じ、世界各地へ届けるもので、本校は2012年5月より参加。今年度も全校生徒が回収に参加、市民の協力もあり、JICAを通じて多くの物資を開発途上国に送付。各国から礼状が届き、校内に掲示。

③ 第4回世界銀行東京事務所開発援助標語コンテスト応募

【日時】 4/30 【場所】 本校

【内容】 開発途上国との協力や援助に対する理解や支援を促す目的で開催される同コンテストへの参加を全校に呼びかけ、143作品を応募。うち1作品が佳作に選出される。

【5月】

① 世界食料デー登別大会「高校生ミーティング」参加

【日時】 5/18 8/24 【場所】 登別市富士町

【内容】 同実行委員会主催。世界に広がる飢えと貧困の克服を目的に啓発運動を推進する同大会にボランティアとして参加する高校生が、それぞれの学校のボランティア活動について発表。また、6月のFAOパネル展についての打ち合わせ。本校から生徒3名が参加。8月は生徒4名が参加し、エチオピアのスラム街に生活する児童の絵を展示するための作業を行うなど、9月に行われる地域イベントの準備を行う。

② 留学生交流事業（大韓民国）実施<資料 04>

【日時】 5/23 【場所】 本校

【内容】 国際理解を目的に、2012年より室蘭工業大学の留学生との交流事業を実施。同大学准教授門澤健也氏の協力。大韓民国からの留学

生を中心に 7 名を招く。留学生らによる講義、韓国料理指導を通じ、生徒は同国における儒教の影響や徴兵制度、学生生活・同国の衣食住について学ぶ。インターナショナルクラブ生徒を中心に 16 名が参加。

③ 第 62 回測量山山開きボランティア参加

【日時】 5/26

【場所】 室蘭市（唐松平公園）

【内容】 同実行委員会主催の地域イベントに、ボランティアとして、本校生徒 5 名が参加。生徒は市民を動物の着ぐるみで出迎え、子どもたちに風船を配るなどして、奉仕の精神を育んだ。

④ 小さな親切運動実行章伝達式<資料 05>

【日時】 5/29

【場所】 本校

【内容】 同運動室蘭支部より新沼彰人事務局長と推薦人が来校。同章を受章した東日本大震災ボランティア派遣代表生徒 5 名がこれまでの活動を発表し、全校生徒が東北支援の重要性を再確認した。

⑤ 気仙沼市立気仙沼中学校へのプレゼント（団扇）デザイン・コンテスト開催

【日時】 5/29-6/12

【場所】 本校

【内容】 東北ボランティア生徒派遣事業（7 月）において、代表生徒が 2012 年より交流ある同中学校へ訪問するにあたり、本校から団扇を贈呈することとなった。生徒会がこの団扇のデザインを全校生徒から募るコンテストを企画し、実施。最優秀賞のデザインをもとに、生徒が手製団扇 300 を完成させ、同校に贈呈。

【6 月】

① 国際交流研修生との交流

【日時】 6/2-15

【場所】 本校

【内容】 国際交流活動の一環として、聖ジョーンズ大学（姉妹校。アメリカミネソタ州）より、2 週間の日程で国際交流研修生男子 1 名を受け入れる。全校生徒対象の講義を通じて、生徒はアメリカの大学制度や言語学についての理解を深める。また、互いの言語を教え合う機会や、ダンス披露会などを設け、生徒は活発に交流し、国際人としての素養を育む。

② 世界食料デー登別大会「FAO パネル展」ボランティア参加

【日時】 6/7-9

【場所】 登別市中央町

【内容】 同実行委員会主催。国際連合食糧農業機関（FAO）のパネル展を大型スーパーで開催。ボランティアとして 17 名が参加。パネル展示の案内やパンフレットの配布、募金活動を行う。

③ ラオスへの物品支援

【日時】 6/12 - 28

【場所】 本校

【内容】 公益財団法人北海道国際交流・協力総合センター主催高校生・アジアの架け橋養成事業において、本校生徒 1 名が選考の結果、全

道の高校生10名に選出されたことを受け、生徒会が中心となって、同国への支援物資の寄付を全校生徒に呼びかける。文具や防寒具が集まり、8月に派遣生徒を通じ、同国へ贈呈。

④ 複合公共施設ワークショップ参加

【日時】6/18、7/17、8/28 【場所】室蘭市知利別町

【内容】向陽中跡地（中島町）に建設する複合公共施設のあり方を議論する「まちづくり協議会」（室蘭市主催）に本校生徒4名が参加。公募で集まった市民約50名と、使い勝手の良い施設になるようディスカッションを重ねる。なお、総合的な学習の時間で、2年生全体が議論した「私たちの住む室蘭」をもとに、意見を述べた。

⑤ フェアトレードショップ見学実施<資料06>

【日時】6/20 【場所】室蘭市東町

【内容】市内のフェアトレードショップ「ほしのおくりもの」をインターナショナルクラブの生徒6名が訪問。 Bangladeshにおける貧困層の労働条件について理解を深める。

⑥ ユネスコ協会 ESD パスポート キックオフ会議 教員派遣

【日時】6/23 【場所】東京都中央区

【内容】日本/ユネスコパートナーシップ事業受託事業「ユネスコスクール ESD ボランティア体験活動推進事業」である同事業のキックオフ会議に市川栄作教諭を派遣。全国のユネスコ協会・ユネスコスクールとの意見交換で交流・連携を深める。

【7月】

① 東北ボランティア生徒派遣事業

【日時】7/9-13 【場所】岩手県～宮城県

【内容】室蘭ユネスコ協会の指導・協力のもと東北への生徒ボランティア派遣（4泊5日）。代表生徒6名は、NPO法人カリタス釜石が運営するカリタス釜石ベースに滞在し、傾聴を主としたボランティア活動を行う。釜石以外にも、日本ユネスコ協会連盟の協力で、釜石ユネスコ協会（秋元厚子会長）・大船渡ユネスコ協会（山口康文会長）・気仙沼ユネスコ協会（佐藤由美子理事）を表敬訪問し、講義や視察を通じて、各地の復興の足取りについて理解を深める。また、宮城県気仙沼市立気仙沼中学校（ユネスコスクール認定校）では、藤田篤志教諭・佐藤将謙教諭の講義を受け、命や絆の大切さ・復興の現状についての理解を深める。

② 海の日フェスティバルボランティア参加

【日時】7/15 【場所】室蘭市幸町

【内容】室蘭ユネスコ協会協力事業である同イベント（めだかの学校主催）が室蘭市文化センターで行われ、ボランティアとして生徒7名が

参加。ESDのパネル展示の案内、世界寺子屋運動の募金活動を実施。

③ タイ王国ユネスコスクールとの交流

【日時】 7/16 【場所】 本校

【内容】 2012年より続く同国チャレルムクアンサトリ高校（ユネスコスクール認定校）とインターナショナルクラブの交流。スカイプのみならず、同校と絵画共同制作プロジェクトを実施。生徒は同国への興味・関心を高めるとともに、英語を母国語としない外国人との英会話の楽しさを学ぶ。

④ 講演会「税に関する講演会」実施<資料 07>

【日時】 7/18 【場所】 本校

【内容】 室蘭税務署広報広聴官を招き、1・2年生を対象に、税に関する講演会を開催。税の役割や種類、少子高齢化と税についての講演を通じ、税から持続可能な社会について考えを深める。なお、この講演後に取り組んだ平成25年度「税に関する高校生の作文」において、生徒1名が室蘭税務署署長賞を受賞。

⑤ 東北ボランティア生徒派遣事業校内報告会<資料 08、09>

【日時】 7/18、9/21、10/26 【場所】 本校

【内容】 同事業に参加した生徒による全校生徒対象の報告会。活動を通じて交流した方々や、ボランティアを通して感じたことを、写真を交え発表。9/21、10/26に本校で実施された中学生向けの学校説明会でも中学生を対象に報告会を実施。

⑥ 病院内ボランティア参加

【日時】 7/22～8/18 【場所】 室蘭市山手町

【内容】 市立室蘭総合病院主催同ボランティアに希望者5名が参加。事前オリエンテーション・一次救命講習会に参加し、病院内にて移動介助・受付カード機操作・花壇の手入れなどの活動を行う。同病院にて12/18～1/13にも実施（参加9名）、3/26～4/9にも実施予定（参加予定者3名）。

【8月】

① 高校生国際協力プログラム参加

【日時】 8/2 【場所】 札幌市白石区

【内容】 JICA北海道主催の同プログラムに希望者が参加。生徒は青年海外協力隊の体験談（ホンジュラス）や、参加型ワークショップ「BafaBafa」を通じて、異文化交流や国際協力について理解を深める。

② 道南バス・海星学院東北支援プロジェクト実施

【日時】 8/2～ 【場所】 本校、室蘭市内

【内容】 道南バス株式会社と室蘭ユネスコ協会の協力で実現。東北ボランティア生徒派遣事業で撮影した現地の様子をもとに、市民向けの

啓発ポスターを作成。6 作品を同社のバス車内に掲示。

③ 釜石の復興状況報告会 講師派遣及びボランティア参加<資料 10、11>

【日時】 8/3 【場所】 室蘭市幸町

【内容】 室蘭商工会議所主催同報告会が室蘭文化センターで開催され、東北ボランティア生徒派遣事業の派遣生徒 6 名が、ボランティア経験を約 400 名の市民に報告、継続的な支援の重要性を訴える。報告会の中で、釜石商工会議所山崎会頭に全校生徒で作成したメッセージカードを譲渡。また、この他 12 名の有志生徒がボランティアとして、物産販売や大会運営を担当。

④ 高校生・アジアの架け橋養成事業参加

【日時】 8/3-11 【場所】 ラオス人民民主共和国

【内容】 公益財団法人北海道国際交流・協力総合センター主催の同事業に、本校生徒 1 名が全道の高校生代表 10 名に選出。室蘭ユネスコ協会の援助を受け、ラオス人民民主共和国でのスタディーツアーに参加。NGO との交流や視察を通して、同国や国際協力についての理解を深める。

⑤ 海岸清掃ボランティア実施

【日時】 8/5-8 【場所】 室蘭市母恋南町

【内容】 2012 年より、運動同好会会員が市内の海岸清掃を実施。今年度は、3 日間、延べ 23 名の生徒がトッカリショなどの海岸のゴミ拾いを行い、ゴミ袋 (40ℓ) 97 袋を集め、奉仕の精神を培い、環境への意識を高めた。

⑥ 複合公共施設アイデアパネル展ボランティア参加

【日時】 8/10-11 【場所】 室蘭市中島町

【内容】 室蘭市が向陽中跡地 (中島町) に建設する複合公共施設のあり方を議論する「まちづくり協議会」において、過去 2 回のワークショップでまとめた 5 つの施設案をパネル化し、参加生徒 4 名が市民に案内。来場者が気に入った案にシールを貼る企画を手伝い、2 日間で 1,000 枚以上のシールを貼ってもらう。

⑦ 清泉幼稚園との交流事業実施

【日時】 8/17 【場所】 室蘭市祝津町

【内容】 同園 (ユネスコスクール認定園) のイベント「清泉まつり」の手伝いボランティア。参加生徒 9 名は出店を担当し、園児・保護者らと交流。

⑧ 特別避難訓練実施

【日時】 8/19 1/14 【場所】 本校及び室蘭市知利別町

【内容】 東北でのボランティア体験で学んだ二段階移動方式による避難訓練を全校で実施。地震・火災からの避難で本校駐車場に集合した

後、大津波が来るという想定の情報を含図に高台（樂山）へと再び避難。8月は、室蘭市消防署高砂出張所の指導の下、ベネディクト幼稚園及び知利別町・高砂町の町内会との合同訓練を実現。

- ⑨ 2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト参加＜資料 12＞
- 【日時】 8/19～3/20 【場所】 本校
- 【内容】 ジャパンアートマイル主催の同プロジェクトに 2 年生全員が総合的な学習の一環として参加。インドネシア共和国 SMAN21 高校（スラバヤ市）と壁画（縦 1.5m×横 3.3m）を共同で制作し、展示を通して世界の調和と平和を訴える。電子掲示板やスカイプを駆使した交流で絵画のテーマやデザインを決定。生徒が壁画の半分の作成を担当した。2012 年より継続事業。
- ⑩ 講演会「東日本大震災を体験して「いのち」を考える」及び教職員研修会実施＜資料 13＞
- 【日時】 8/21 【場所】 本校
- 【内容】 宗教科特別授業として、上智大学グリーンケア研究所特任所長高木慶子氏をお招き、全校生徒を対象に実施。東北でのグリーンケアで出会った 3 人の事例を通して、生徒は生きること・人生で大切にしなければならないものについて考えを深めた。また、同日、実施された教職員研修会では、教員としての在り方について講演。教職員は、生徒に寄り添う教育について理解を深める。
- ⑪ ESD パスポート交付式およびユネスコスクール会議参加
- 【日時】 8/29 【場所】 室蘭市幸町
- 【内容】 室蘭ユネスコ協会主催の同式典に教員参加。式後、6 月に実施された同事業のキックオフ会議について、立野了子会長と市川栄作教諭が、北海道登別明日中等教育学校（ユネスコスクール認定校）・北海道大谷室蘭高等学校の担当者に報告。各校との意見交換で交流・連携を深める。

【9 月】

- ① 登別市立西陵中学校特別授業 講師派遣＜資料 14＞
- 【日時】 9/3 【場所】 登別市片倉町
- 【内容】 東北ボランティア生徒派遣事業に参加した生徒 6 名による特別授業を同中学校全校生徒対象で実施。活動を通じて交流した方々や、ボランティアを通して感じたことを、写真を交え発表。
- ② 世界食料デー登別大会「プレ大会」ボランティア参加及び校内パネル展実施
- 【日時】 9/6-13 【場所】 登別市中央町、本校
- 【内容】 同実行委員会主催。大型スーパーで開催された同大会に、ボランティアとして本校 5 名の生徒が参加。エチオピアの児童が夢をテ

ーマに描いた絵画 26 点の他、国際連合食糧農業機関（FAO）の
パネルや、他校生徒とともに作成した資料を展示。来場者の案内・
パンフレット配布を通じて、世界の食料問題への募金協力を呼び
かける。これらの絵画やパネルは、校内にも展示し、生徒はエチ
オピアにおける食料問題や就学問題についての理解を深めた。

③ 通訳ボランティア参加<資料 15、16>

【日時】 9/29

【場所】 室蘭市内

【内容】 外国からの大型客船（ダイヤモンド・プリンセス号）来航の際、
市内観光をする乗客・乗員（約 2,500 名）に全校生徒で、通訳・
観光補助。室蘭観光協会・NPO 法人羅針盤と連携。2005 年度か
ら継続実施。

【10 月】

① アメリカ修学旅行実施

【日時】 10/9-18

【場所】 アメリカ合衆国ミネソタ州

【内容】 2 年生対象。姉妹校 Benilde-St.Margaret's School や大学 College of
Saint Benedict & Saint John's University との交流やホームステ
イの体験を通じて、相互の文化的な違いを学び、国際感覚を養う。

② 世界食料デー登別大会「本大会」ボランティア参加

【日時】 10/14

【場所】 登別市富士町

【内容】 同実行委員会主催。世界の貧困・食糧問題に関する啓発活動を目
的とした同大会が登別市民会館で開催され、ボランティアとして
本校生徒 4 名が参加。近隣の高校の生徒とともに、受付や会場や
舞台の準備、募金活動を行う。また、国際協力 NGO 声なき者の友
の輪インターナショナル柳澤美登里氏の講演「21 世紀の世界市民
として生きる」から、開発途上国への理解を深めた。

③ 平成 25 年度北海道高等学校文化連盟第 10 回全道高等学校ボランティア研究
大会 発表者派遣

【日時】 10/29-30

【場所】 岩見沢市内

【内容】 実践事例発表校として発表者 4 名が参加。本校の ESD や活動につ
いて、全道から集った高校生や顧問の先生方約 400 人を前に発表。
分科会では、北星学園大学経済学部教授萱野智篤氏の指導の下、
貿易ゲームに参加。構造的暴力とフェアトレードについての理解
を深める。

【11 月】

① スペイン人留学生との交流<資料 17>

【日時】 11/5

【場所】 本校

【内容】 南山大学との連携。スペインのサラマンカ大学の留学生 2 名が来

校し、3年生と交流。留学生によるスペインの文化や日常生活のプレゼンテーションやスペイン語講座を通じ、異文化について理解を深める。

② ユネスコ・ユースフォーラム in 室蘭

【日時】 11/9

【場所】 室蘭市内

【内容】 室蘭ユネスコ協会・ユネスコスクール連携事業。代表生徒 5 名が参加。世界寺子屋運動の一環として、募金活動を展開した他、HIECC 主催「高校生・アジアの架け橋養成事業」に参加した生徒が「ラオス派遣報告会」の発表を行う。北海道登別明日中等教育学校（ユネスコスクール認定校）や北海道大谷室蘭高等学校、清泉幼稚園（ユネスコスクール認定園）と連携。

③ ESD・ユネスコスクール研修会 発表者派遣<資料 18>

【日時】 11/10

【場所】 札幌市中央区

【内容】 北海道教育大学釧路校・ESD 推進センター主催同研修会に本校生徒 1 名が発表者として参加。高校の活動発表において、生徒が北海道登別明日中等教育学校（ユネスコスクール認定校）の生徒と HIECC 主催「高校生・アジアの架け橋養成事業」でラオスを訪れた経験について発表。全道から集まったユネスコスクールの教員に、同国の教育や経済の現状について、また不発弾の問題について報告した。

④ オーストラリア語学研修

【日時】 11/10-12/9 【場所】 オーストラリア連邦西オーストラリア州

【内容】 生徒 6 名が参加。Perth Institute of Business & Technology の Edith Cower University キャンパスにある語学学校にて、語学力向上と異文化理解を目的に実施。

⑤ カンボジアへの物品支援<資料 19>

【日時】 11/11 【場所】 本校

【内容】 2013 年 4 月に実施した「世界一大きな授業」を契機として、リーダー及び鍵盤ハーモニカの募集を生徒会が開始し、全校生徒がこれに協力。各楽器 30 を NPO「はちどりプロジェクト」を通じ、同国の教育施設へ贈呈。

⑥ アジアの架け橋養成事業報告会実施<資料 20>

【日時】 11/14

【場所】 本校

【内容】 HIECC 主催の同事業でラオスに派遣された道内の高校生 5 名（うち本校生徒 1 名）による報告会を、全校生徒を対象に実施。同国の衣食住や進出する日系企業、不発弾問題に関する報告や支援物資贈呈の報告を通じ、開発途上国についての理解を深める。

⑦ 世界寺子屋運動参加<資料 21、22>

【日時】 11/22-2/28

【場所】 本校、室蘭市内

【内容】 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟主催。2011 年からの継続事業。支援対象国カンボジアの歴史・世界遺産・現状について学び、希

望者が協力を呼びかけるリーフレット作成を開始。12/4 にリーフレットが完成し、校外外で書き損じはがき・未使用はがきの回収活動を開始。また、代表 2 作品をリーフレットコンテストに応募した。さらに、室蘭ユネスコ協会にリーフレットを寄贈。同協会がこれらを室蘭市内の各教育機関に配布した他、道南バス株式会社、室蘭社会福祉協議会、登別社会福祉協議会、本校関係団体がリーフレットの配布や掲示に協力。1/8 には、本校生徒が地元の FM ラジオ局「FMびゅー」に出演し、協力を呼び掛ける。運動に協力して下さった市民には礼状を送付。3 年目になるが、協力団体が増加するなど、運動に広がりが出た。

⑧ フィリピンへの物品支援協力

【日時】 11/25 - 12/6 【場所】 本校

【内容】 2013 年 11 月に台風の被害にあった同国に対し、カトリック東室蘭教会が物品支援の活動を展開。ボランティア委員会が中心となって物品を校内で募集し、全校生徒がこれに協力。保存食・タオル・シーツ・歯ブラシなど、同教会を通じて、同国に贈呈。

【12 月】

① 第 5 回ユネスコスクール全国大会 教員派遣

【日時】 12/1 【場所】 東京都多摩市

【内容】 文部科学省 日本ユネスコ国内委員会主催の同大会に教員を派遣。全国の ESD 実践について学ぶとともに、全国の教員と情報交換をするなどの交流をした。

② フィリピンへの応援メッセージ作成

【日時】 12/2-13 【場所】 本校

【内容】 「聖書」の時間を通じて、全校生徒が参加。2013 年 11 月に台風被害にあった同国に英語とフィリピン語でクリスマスカードを作成。北海道カトリック学校連盟のネットワークを通じて、函館白百合学園の姉妹校 St. Paul College Pasig's に送付。

③ フィリピンへの物品支援＜資料 23＞

【日時】 12/2-13 【場所】 本校

【内容】 生徒会が中心となって、卒業する 3 年生の使っていた運動靴を対象に収集活動を展開。運動靴 32 足を、2014 年 3 月に市民団体 OTARU ワールドフレンズ（小樽市）を通じて、同国の教育施設に贈呈。

④ 羅臼町第三回ユネスコスクール研究発表会 発表者派遣＜資料 24＞

【日時】 12/10-11 【場所】 羅臼町

【内容】 羅臼町教育委員会主催の同発表会に、本校生徒 1 名が発表者として参加。高校の活動発表において、生徒が北海道羅臼高等学校（ユ

ネスコスクール認定校)・とわの森三愛高等学校の生徒と HIECC 主催「高校生・アジアの架け橋養成事業」でラオスを訪れた経験について発表。

【1月】

① 雪かきボランティア参加<資料 25>

【日時】 1/7-3/31

【場所】 室蘭市内

【内容】 室蘭社会福祉協議会主催のボランティアに生徒 25 名が登録。2011 年からの継続事業。高齢者などの雪かき困難者宅 9 軒を担当。

② 高校生国際協力プログラム参加

【日時】 1/8-9

【場所】 札幌市白石区

【内容】 JICA 北海道主催の同プログラムに生徒 4 名が参加。生徒は、多彩なワークショップとディスカッションを通じて、東欧やアフリカにおける紛争や多文化共生の事例を学び、国際協力の場面をはじめ日常生活でいかに「共生」を実現していくべきかについて理解を深める。

③ 研修会「開発途上国の子どもたち」実施

【日時】 1/22

【場所】 日高町

【内容】 毎年 1~2 月に、日高で実施しているスキー宿泊研修において、1 年生を対象に開発途上国の子どもや社会の問題をテーマとした研修会を実施。今年度はパプアニューギニアの子どもたちを取り上げたワークショップを実施。

④ オーストラリア人留学生との交流

【日時】 1/27

【場所】 本校

【内容】 ウェストオーストラリア大学の留学生 1 名が来校し、1 年生と交流。日濠の情報交換を通じて、異文化について理解を深める。

【2月】

① 留学生交流事業（マレーシア）実施<資料 26>

【日時】 2/4

【場所】 本校

【内容】 国際理解を目的に、2012 年より室蘭工業大学の留学生との交流事業を実施。同大学准教授門澤健也氏の協力。マレーシアからの留学生を中心に 7 名を招く。留学生らによる講義、料理指導を通じ、生徒は同国における高校生の生活や、民族舞踊、フォークソングについて学ぶ。インターナショナルクラブ生徒 9 名が参加。

【3月】

① 世界寺子屋運動書き損じはがき贈呈式<資料 27>

【日時】 3/18

【場所】 本校

【内容】 室蘭ユネスコ協会会長立野了子氏来校。書き損じはがき・未使用

はがき 4,109 枚、寄付金 13,337 円その他を贈呈。立野会長より感謝状を頂く。

② 2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト鑑賞会<資料 28>

【日時】 3/18

【場所】 本校

【内容】 同プロジェクトの完成壁画が SMAN21 高校より本校に届き、鑑賞会を 2 年生で実施。壁画を鑑賞し、壁画のテーマである環境への取り組みの絵を比べあいながら、環境問題への意識を高める。

